

ミニマイク

取扱説明書



スターキージャパン株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23 3F
Tel.045-475-9701 Fax.045-475-9706

www.starkeyjp.com

© 2023 Starkey Japan. All Rights Reserved. BKLT0099-00-JJ-JP JPYBK-099
2023年5月作成



目 次

各部の名称と機能	2
使用方法	5
日常操作	7
ミニマイクの装着方法	9
補聴器とのペアリング	10
リモートマイクの使用法	12
ストリーミングの開始／停止	13
トラブルシューティング	14
規制に関する注意事項	16
認証情報	19

各部の名称と機能

ミニマイクは、マクロホンで捉えた音源から音を2.4GHz帯ワイヤレス方式の補聴器へストリーミングするように設計されています。騒々しい環境下で会話の相手と距離がある時など、ミニマイクが補聴支援機器として役立ちます。

ストリーミングとは？：

音声または音楽などのサウンドが本製品から補聴器へ直接的にワイヤレスで伝送されることです。

内容物一覧

- ミニマイク
- ACアダプター
- 取扱説明書

別売オプション

- 専用ネックストラップ



1. 電源ボタン
2. 表示ランプ
3. マイクロホン
4. マイクロUSBジャック
5. クリップ

1. 電源ボタン

- 本製品の電源をオン/オフします。

2. 表示ランプ

- 本製品の動作状態が確認できます。

表示ランプ	現在の状態
点灯なし	電源が入っていません
緑ランプが ゆっくり点滅	電源が入っています
赤ランプが ゆっくり点滅	低バッテリー状態です
赤ランプの点灯	故障の可能性があります

3. マイクロホン

- 使用している間、話者の声を拾います。

4. マイクロUSBジャック

- マイクロUSBケーブルを取り付けて充電します。

5. クリップ

- 本製品を衣服やストラップに装着できます。

ご注意：ストリーミングの音量は、Thrive（スライブ）アプリ、Thriveリモコン、補聴器本体の操作ボタン/スイッチからも調整できます。詳しくはお使いの補聴器の取扱説明書をご覧ください。補聴器販売店にお尋ねください。

使用方法

1. 本製品を起動させるには、
緑色の表示ランプが点灯するまで、
電源ボタンを3秒ほど押し続けます。



2. 補聴器の電源が入っていることを確認します。
 - **注：**ストリーミングを開始する前に、補聴器が本製品とペアリングされている必要があります。
 - 詳しくは、10ページの**補聴器とのペアリング**をご参照ください。
3. ストリーミングを開始します：
 - Thriveアプリを開き、アクセサリ画面の**ストリーミングの開始**を選択します。
 - 詳しくは、13ページの**ストリーミングの開始／停止**をご参照ください。
4. ストリーミングの音量を調節するには、Thriveアプリ、Thriveリモコン、または補聴器本体の操作ボタンをご使用ください。

5. ストリーミングを停止させるには、以下のいずれかを行ってください:

- 本製品の電源を切ります。
- Thriveアプリを開き、アクセサリー画面からストリーミングを停止します。
- 詳しくは、13ページの**ストリーミングの開始／停止**をご参照ください。

日常操作

電源を入れる

表示ランプが点灯するまで、電源ボタンを3秒ほど押し続けます。



電源を切る

表示ランプが消えるまで、電源ボタンを3秒ほど押し続けます。



電池残量の低下

ゆっくりと**赤**い表示ランプが点滅します。補聴器のお知らせ音が5分おきに鳴ります。



充電

付属のACアダプターのマイクロUSBケーブルの端子を本製品のマイクロUSBジャックに差し込み、ACアダプターをコンセントに差します。



充電状態

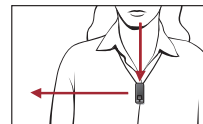
本製品は3時間以内でフル充電できます。1時間の充電で電池容量の約半分に到達します。

電源	充電状態	表示ランプ
切	充電中	緑ランプ点灯
切	フル充電	消える
入	充電中	緑ランプ点灯（他の動作表示のために中断することがある）
入	フル充電	消える

ご注意：ストリーミング中に本製品を充電すると、充電に時間がかかる可能性があります。本製品の電源を切ると、充電は早くなります。

ミニマイクの装着方法

本製品は衣服に装着することや、ネックストラップを取り付けることができます。本製品は話者の口元から20cm以内の距離に設置してください。



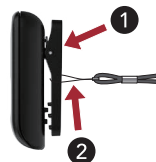
クリップ

矢印で示した部分を押し、クリップ部分が開閉し、衣服に装着させることができます。安全に衣服に装着できることを必ず確かめてから実行してください。



ネックストラップ

1. 図の通り、クリップを押します。
2. ネックストラップの取付ループをクリップに引っ掛けて、クリップの上部まで持ち上げます。
本製品がネックストラップに安全に取り付けられているかどうか確かめます。
3. ネックストラップを首に掛けます。



補聴器とのペアリング

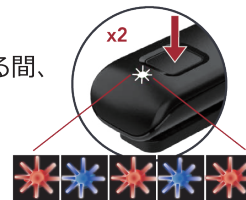
本製品を補聴器と通信させる為には、先ず、最初に各補聴器と本製品をペアリングさせる必要があります。ペアリングの実行は初回のみ、その後は、ワイヤレス操作の範囲内で電源が入っていれば、自動的にお互いを認識するようになります。*

本製品と補聴器のペアリングは以下の通りに行います：

- 補聴器がお近くのBluetooth機器に接続されていないことを確認します。そのためには、
 - スマートフォンのBluetooth接続を切ります。
 - TVストリーマーやリモコンなど、補聴器とペアリングしている機器の電源を切っておきます。
- 補聴器の電源を一旦切って、電源を入れ直します。
 - 注：**CROS補聴システムでは、補聴器とCROS送信機の両方の電源を切ります。そして、補聴器だけ電源を入れ、CROS送信機の電源は切れたままにしておきます。
- 補聴器を本製品の半径15cm以内に置きます。

* 通常の通信範囲は、10m以内（但し、リモートマイク機能を使用時は見通し距離で20m以内）です。障害物、電波干渉、身体的位置関係などの環境的な理由により、操作範囲が限定されることがあります。操作可能な距離の拡大は可能ではありますが、音質や接続性が損なわれる恐れがあります。

- 緑ランプがゆっくり点滅している間、電源を2度押します。表示ランプが交互に青と赤に点滅し始めます。



- 補聴器を**両側に装用**している場合：

最初の点滅	2回目の点滅	ペアリング状態	次のステップ
①	②	両方の補聴器 ペアリング完了	必要なし
①	②	片方の補聴器のみ ペアリング完了	やり直し 1-5 を繰り返す
①	点滅 していない	ペアリング されていません	やり直し 1-5 を繰り返す

- 補聴器を**左右どちらかに装用**している場合：

表示ランプの点滅	ペアリング状態	次のステップ
①	ペアリング完了	必要なし
①	ペアリング されていません	やり直し 1-4,6 を繰り返す

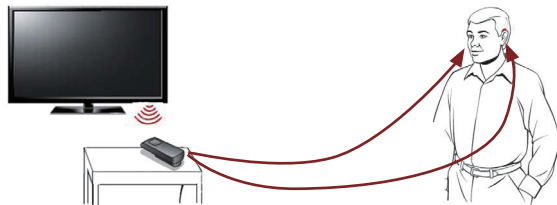
リモートマイクの使用法

本製品の主な目的は、騒音のある環境で会話の相手と距離があるときの使用です。

遠隔で本製品が声を拾うことで、補聴器ユーザーは相手の声に集中することができます。



卓上で使用する会議用の無指向性マイクの一般的な使用目的と異なり、本製品は特定の条件下での使用で効果を発揮します。例えば、テレビの近くに本製品を置いて、テレビを視聴してみましょう。本製品とテレビのスピーカーとの距離を調整したり、ストリーミングの音量を調節することで、快適に音声を聞きとることができるようになります。



ストリーミングの開始／停止

本製品からオーディオのストリーミングを開始（または停止）するには、以下の方法があります：

- **本製品：**
本製品の電源を入れると補聴器へ自動的にストリーミングが開始されます。
 - **Thrive アプリ：**
スマートフォンやタブレットからアプリを開きます。アクセサリ画面からストリーミングの開始／停止を選択します。
 - **Thrive リモコン：**
補聴器販売店のPCで事前に設定した「お気に入り」ボタンを押します。
- 
- **補聴器本体のボタン／スイッチ：**
補聴器販売店の事前に設定した操作（例えば、ボタンやスイッチの長押しなど）からストリーミングを開始／停止できます。
 - 本製品の電源が切られた場合、ストリーミングは停止されます。

ストリーミングの開始／停止の際、補聴器からお知らせ音が再生されます。

トラブルシューティング

症状/問題	考えられる原因	解決策
補聴器から ストリーミング が突然されな くなった	ワイヤレス通信の 範囲ギリギリで操作 されている	ミニマイクを 補聴器にもっと 近づけてみましょう
	補聴器の 電池残量が低下して ストリーミングが できない	- 新しい電池と交換 しましょう - 充電式補聴器の 場合は、充電して みましょう
	家具や壁などの 大きめの障害物が 信号を妨げている かもしれない	ミニマイクと 補聴器の間に何も遮る ものがないようにしま しょう
	ミニマイクとの ワイヤレス通信が 途切れている	「ストリーミングの 開始/停止」(13頁) の順に従って、 ストリーミングを 再開させます
ストリーミン グされるオー ディオの音質 が歪んでいる	ミニマイクが 低バッテリー状態	ミニマイクを 充電してみましょう
騒々しい環境下 で話者の声が 聞き取り難い	ミニマイクの 位置があなたの口元 から遠すぎるかも しれない	ミニマイクを あなたの口元近くまで 移動させてみましょう または大きな声で 話しましょう
	ミニマイクが 衣類に被われている、 または位置が良くない	ミニマイクが 話者の声を拾える ように配置を見直して みましょう

症状/問題	考えられる原因	解決策
表示ランプが 緑色または 青色にゆっくり 点滅しているの に、補聴器へ 音声ストリー ミングされない	補聴器がミニマイク とペアリングされて いない	「補聴器とのペアリング」 (10頁)の順に従って 設定してみましょう
	補聴器がストリー ミングを受信する準備 ができていない	ストリーミングを始める 為にストリーミングの 開始/停止(13頁)を 参照して見ましょう
	音声信号の入力が されていない	- 音源に使用されている 機器の電源を確認しま しょう - 音源に使用されている 機器のミュートの解除 や音量を上げてみます - 磁気誘導ループシステ ムやFM補聴システム が機能しているか確認 します
赤い表示ランプ が点灯している	エラー状態の可能性	ミニマイクの電源を 切り、30秒ほど時間 をおいてから、再度電源 を入れてみましょう

規制に関する注意事項

必須情報



電子機器は、地域の規則に従って処理する必要があります。

古い電子機器の廃棄手順

Starkey Hearing Technologiesは、お住まいの地域の法律に従って本製品を廃棄することを推奨しています。

以下は、お住まいの地域の廃棄/リサイクル担当者へのアドバイスになります。本製品を廃棄する際、必要に応じてこの取扱説明書を一緒にお渡しください。

廃棄/リサイクルご担当者様

この製品には、リチウムポリマー電池が含まれています。電池を取り外す必要がある場合には、

- 本製品の電源をお切りください。
- ドライバーを使用して本体カバーを取り外してください。
- ショートによる電気事故を防ぐため、回路基板からバッテリーワイヤーを切ってください。
- マイナスドライバーを使用して、本体から電池を取り外してください。

使用目的

本製品は、気導式2.4GHzワイヤレス補聴器の付属アクセサリーです。マイクホンで捉えた音源からお使いの気導補聴器へワイヤレスで音を伝送することを目的にしています。騒々しい環境下で話者と距離があるときに装着することで、補聴支援機器として機能します。

本製品は、IEC60601-1医用電気機器規格タイプB形の適用部品に分類されています。

本製品は、国際的なEMC（電磁両立性）試験の最も厳しい基準に適合するように設計されています。ただし、送電線からの電磁波、空港の金属探知機、他の医療機器からの電磁波、無線信号、静電気放電などによって干渉を受ける可能性があります。

本製品は、中性洗剤を湿らせた布で、綺麗に拭き取ることができるように設計されています。

本製品が除細動器やペースメーカーといった植込み型医療機器に干渉する可能性がある場合、医師または医療機器メーカーに連絡してください。本製品をMRI検査室または高圧室では使用しないでください。本製品は炭鉱や化学工場といった環境での使用は認められていません。

航空機内での使用

本製品は、航空会社の客室乗務員の許可が下りない場合は使用しないでください。

国外での使用

本製品は、日本での使用は承認されていますが、それ以外の国・地域での使用は承認されていない場合があります。海外旅行中に本製品を使用すると、他の電子機器と干渉する可能性があることに注意してください。

本製品は以下の温度範囲で設計されています。

- 保存および動作時：-10～+45℃（14～113°F）、湿度 10%～95%

警告：本製品を他の電子機器の近くで使用しないでください。本来の性能を発揮できない可能性があります。やむを得ず使用する場合は、補聴器と電子機器が正しく機能していることを確認してください。

警告：本製品に製造元以外の部品を使用すると、製品の性能の低下につながる可能性があります。

警告：本製品から30cm以内の距離でワイヤレス通信機器を使用している場合、補聴器と本製品のペアリングの性能が低下することがあります。このような場合は、ワイヤレス通信機器を本製品から遠ざけてください。

警告：付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。

本製品は防塵・防水に対して、正式に国際等級（IP）は取得していませんが、IEC60529で規定されたIP5Xレベルの試験は実施されています。これは、本製品が、塵や埃に保護されている、IP5Xの同等製品であることを意味しています。

本製品には、使用者が自分自身で交換できる部品は含まれていません。本製品を分解や改良することはできませんので、ご注意ください。

本製品を、取扱説明書に記載されていない機器と接続することはお止めください。

本製品の耐用年数は3年です。

Wireless Technical Description

Starkey Hearing Technologies Mini Remote Microphone operates in the 2.4- 2.4835 GHz band with a maximum effective radiated power of 8 dBm with transmission modulation type of GFSK with 2 MHz bandwidth. The receiver section of the radio has a bandwidth of 2 MHz.

The Mini Remote Mic has been tested to, and has passed, the following emissions and immunity tests:

- IEC 60601-1-2 radiated and conducted emissions requirements for a Group 1 Class B device as stated in CISPR 11.
- Harmonic distortion and voltage fluctuations affecting the power input source as stated in Table 2 of IEC 60601-1-2.
- RF radiated immunity at a field level of 10 V/m between 80 MHz and 2.7 GHz as well as higher field levels from communications devices as stated in Table 9 of IEC 60601-1-2.
- Immunity to power frequency magnetic fields at a field level of 30 A/m.
- Immunity to ESD levels of +/- 8 kV conducted discharge and +/- 15 kV air discharge.
- Immunity to electrical fast transients on the power input at a level of +/- 2 kV at a 100 Hz repetition rate.
- Immunity to surges on the power input of +/- 1 kV line to line.
- Immunity to conducted disturbances induced by RF fields on the power input as stated in Table 6 of IEC 60601-1-2.
- Immunity to voltage dips and interruptions on the power input as stated in Table 6 of IEC 60601-1-2.

認証情報

Starkey Hearing Technologies
6700 Washington Ave. South
Eden Prairie, MN 55344 USA 

FCC ID:EOA-24RMQ
IC:6903A-24RMQ (Model 950)



Wm. F. Austin House, Bramhall Technology Park
Pepper Road, Hazel Grove, Stockport SK7 5BX
United Kingdom



This device produces radio frequency energy. Interference may occur in the vicinity of equipment marked with the following symbol.



Class II device



Dispose of properly



Consult operations manual



Notes

[illegible]

Notes

[illegible]